

150th
RIKKYO
NEXT

創立150周年ビジョン

新
作
能

立
教
学
院
創
立
1
5
0
周
年
記
念
企
画

聖パウロの回心

主
催
：
学
校
法
人
立
教
学
院
協
力
：
観
世
宗
家

台
本
制
作
：
林
望

能
作
・
演
出
：
観
世
清
和

狂
言
演
出
：
野
村
萬
斎

囃
子
監
修
：
亀
井
広
忠

協
力
・
助
言
：
高
橋
み
づ
ほ

オ
ル
ガ
ン
奏
楽
：
今
井
俊
道



10年を経て、
今ふたたび降臨――。



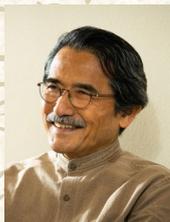
二十六世観世宗家
観世 清和
© 鍋島徳彦



観世三郎太
© 鍋島徳彦



野村 裕基



作家・書誌学者
林 望

2024年12月21日[土] 開場：12時30分/開演：午後1時

[会場] 立教大学 池袋キャンパス「タッカーホール」 東京都豊島区西池袋3丁目34番1号

[お問い合わせ] 立教学院創立150周年記念事業推進本部事務局 電話 03 (3985) 4163



聖パウロの回心

二〇二四年 十一月二十一日「土」 開演：午後一時
於 立教大学 池袋キャンパス「タッカーホール」

番組

お祈り 中川 英樹 立教大学チャプレン

ご挨拶 西原 廉太 立教学院院長
立教大学総長

仕舞

高砂 観世三郎太

地謡
久田勘吉郎 角 幸二郎
杉浦 豊彦 清水 義也

解説 林 望

能

アナニア 坂口 貴信
サウロ(パウロ) 観世 清和
復活のイエス 観世三郎太

聖パウロの回心

大鼓 亀井 広忠 太鼓 林 雄一郎
小鼓 飯田 清一 笛 松田 弘之
大祭司 宝生 常三

ダマスコの里人 野村 裕基
旅人 高野 和憲

後見 坂井 音晴
武田 尚浩
上田 公威

地謡
杉浦悠一朗 角 幸二郎
武田 祥照 杉浦 豊彦
武田 宗典 浅見 重好
清水 義也 藤波 重孝

オルガン 今井 俊道

お祈り 広田 勝一 立教学院チャプレン長

(終演予定 午後二時五十分)

「聖パウロの回心」解説

新約聖書「使徒言行録」第9章「パウロの回心」を忠実に能として劇化。ユダヤ教徒であるサウロ(パウロ)の命を受け、キリスト教徒を捕縛し迫害を加える中、ダマスコの近くでイエスの「なぜ我らを虐げるのか」との声と、雷鳴が轟き失明する。眼が見えず失意のサウロは里人(問狂言)と出会い、サウロの所業を責められ、自身の愚かさを嘆き悲しむ。そこにイエスの弟子アナニア(ツレ)が現れ、主よりサウロの眼を回復させるように遣わされたと言い、サウロの臉に手を置くと、眼から鱗のようなものが落ち、サウロは視力を回復します。サウロは心改めキリスト教へ帰依し、使徒パウロとなり消えてゆきます。(中入)

程なくして、荘厳なバイブオルガンの音に包まれイエス(後シテ)が復活し、神慮を説き舞を舞い、パウロが回心し福音を伝える伝道師となることが使命だと伝え再び空へと消えてゆくのでした。

本校ゆかりの二十六世観世宗家観世清和師と国文学者・作家の林望先生の特別協力により、平成24年に能作され、同年立教大学タッカーホールにて、東日本大震災の鎮魂と復興を祈念し初上演した演目。



立教学院院長
立教大学総長

西原 廉太

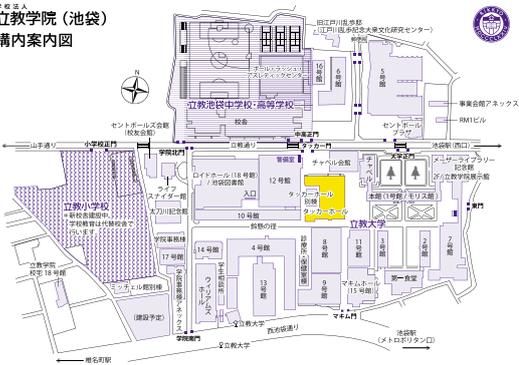
この度、立教学院創立150周年を記念して、観世流二十六世家元・観世清和先生による新作能、「聖パウロの回心」が再演される運びとなりました。1563年(永禄6年)に来日したポルトガル人宣教師、ルイス・フロイスは、有名な『日本史』をはじめとする多数の著作を今に残しています。それらの中には「能」に関する記録も登場し、当時の「能」がどのように演じられたかを知る貴重な記録ともなっています。

おそらく今回の題材であります「パウロの回心」の物語(新約聖書「使徒言行録」第9章1-19節)も、「吉利支丹能」として演じられたことでしょう。一方、聖書の物語や教えを、それが伝えられた土地の文化・芸術によって表現することは、現代キリスト教神学においては「インカルチュレーション」(文化内開花)として、きわめて重要な作業であるとされています。

かつて遠藤周作は、この作業を「和服のキリスト教」としましたが、今回のキリシタン能の上演は、日本が誇る伝統芸能表現による「インカルチュレーション」の実践例として、世界的にも貴重な機会となります。今からちょうど150年前に、米国聖公会の宣教師、チャニング・ムーア・ウィルアムズ主教は、築地にある小さな学校を開き、その英名は「St. Paul's School」(聖パウロ学校)と名づけられました。回心したパウロのように、目が開かれて、新たな視点をもって世界を見つめることができる人々を育てたい。この名には間違いなく、そのような願いがありました。

今回、新作能「聖パウロの回心」が、創立150周年を迎えた立教において再演されますことは、その意味でも実に相応しく、また光栄なことであると、感謝申し上げます次第です。

立教学院(池袋) 構内案内図



【会場】
立教大学 池袋キャンパス
「タッカーホール」
東京都豊島区西池袋 3-34-1

【アクセス】
JR 各線・東武東上線・西武池袋線・
東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/副都心線
「池袋駅」下車、西口より徒歩約7分